

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ひだまりきっずPlus		令和8年 3月 1日				
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	十分な広さを確保できています。児童発達支援のスペースで二部屋あるので、動きのある活動と静かに行う活動で部屋を分け、安全と療育の質を上げていけるよう工夫しています。	スペースを上手く活用してより良い支援を心がけていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	職員の配置人数は満たされています。日によってはマンツーマンに近い体制で療育ができるため、手厚い療育を行うことができます。	職員の急な休みにも安全な支援ができるよう、また質の向上のため増員を希望する声もあるので、日々必要とされる療育ができる体制を工夫していきたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	1日の流れや玩具の収納、個々のロッカー等は写真や絵カードを使って子どもに分かりやすくしています。カムダウンルームが適切に使用されてきている実感があります。	子どもたちの成長と共に日々環境を整え、楽しく安心して過ごせる空間になるよう、環境整備を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	清掃方法（使用する洗剤等含む）を一覧にし、職員が日々欠かさず清掃ができるようにしています。活動に合わせマットを移動させたりアスレチックを出したり、心身ともに成長できる空間づくりを心がけています。	昨年新築開所した事業所で、日々の清掃で清潔に保たれています。今後も維持できるよう努めていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	各部屋にカムダウンルームが設置されています。必要に応じてカムダウンルームを使用し、体調や気持ちに対応できる環境を整えています。	その日の子どもの様子を把握し、静かに過ごしたいときは個別の対応もできるような環境を整えていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	日々変化する子どもの様子を職員間で共有し、その都度必要な支援を提供できるよう意見を出し合っています。その中で、それぞれが学び、成長し自己の役割の重要性を理解し支援できるようにしています。	現状をより良くするための工夫を続け、目標を持った支援と自己啓発に向けての意識と心得を日々実施していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	年に1度、保護者向け評価表を用いて調査を実施し、保護者からの情報やご意見をj得て事業所の活性化と安全に繋いでいきます。	開所して今回初の評価表によりアンケート調査を行ったため実績はないが、保護者の意見をいただける機会を大切にj業務改善に繋げていける体制をつくっていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	月に1度、職員会議を行い意見交換の機会を設け必要な業務改善を行っています。また、日頃から職員同士で話しやすい環境のため、その都度業務改善に繋げる話し合いができています。	職員会議の参加は正規職員のみで行っているため、会議に参加できない職員に対して議事録を含め口頭でも伝え情報共有すると共に、支援にあたるすべての職員が意見を発信できる機会を設けていきたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	事業所評価・保護者評価でとっており、第三者からの評価はできていません。	必要に応じて実施を考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	事業所研修、外部研修、講習会の参加を行っております。実施後は報告書を記入し、参加できなかった職員への情報共有の時間を設けています。	ひきつづき、研修、講習会への参加、勉強会を実施し、職員の資質向上に取り組んでいきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ホームページに支援プログラムを公表しています。	支援プログラムの見直しを行い、支援の質の向上を目指していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	契約時にアセスメントをとり、モニタリングの際には相談・助言等を行い情報共有と共通理解を得て児童発達支援計画を作成しています。	定期的にモニタリングを実施し、子どもの現状や今後の支援方法・対応の仕方等、保護者との間で共通理解と情報共有、統一支援などを話し合い子どもにあった計画を心がけています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	モニタリング後に全職員と内容を共有し、今後の支援内容については会議を行い意見交換と共有理解の下検討し、支援計画を作成しています。	子どもに関わる職員が納得して支援できる計画書の作成に努めていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	個別支援計画に沿って日々の子どもの記録を記載しており、常に支援計画を意識して支援にあたることでできています。	子どもに関わる職員全員が同じ方向性（計画に沿った）をもって統一した支援が行えるように努めていきます。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	保護者からのアセスメント、職員間で共通理解ができるインフォーマルなアセスメントで、子どもの成長や状況の把握を確認できるようにしています。	インフォーマルなアセスメントについては、全職員が子どもの行動観察力を強化し記録に残すことを習慣づけ、日々の支援に活かしていけるようになります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	各子どもの成長や目標、状況に合わせて必要な項目を選択し、新たに支援する計画についても、支援方法や用具の必要性等も考慮して支援内容を設定しています。	5領域と本人、家族、移行支援等を踏まえたねらい及び支援内容で支援計画を作成しています。利用者の要望や成長に考慮した支援内容を設定し、統一した支援が実施できるよう具体的な支援内容を設定するよう心がけています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎月、現場職員で振り返りを行い子どもの状態に適した内容を検討しています。	子どもの成長や興味、関心様々な視点から意見を出し合い、子どもたちに必要な活動プログラムを作成しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	都度、反省や振り返りを行い、活動内容の継続の必要性や発展方法、新しい活動の検討を行っています。	子どもたちが様々な経験を積み重ねていけるよう活動内容を検討していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	子どもの成長や発達、また本人と保護者の希望を考慮して個別活動と集団活動を組み合わせ活動しています。	その日の体調や気分に応じて活動内容を変更するなどの対策を取り、気持ちに寄り添った支援を心がけていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援方法や前日までの子どもの様子を確認して、支援の質を見直しその日の支援に繋げていけるようにしています。	職員間で情報の共有・理解を深め、連携した支援を心がけていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援中、特に変化があった内容について話し合い、振り返りや他者意見を聞き、必要なときは改善方法を考えたり、方向性を決めたりしています。	終礼に参加できない職員にも情報共有できるよう、療育記録やヒヤリハットの記入を行い、全職員が共通認識の上で支援ができるよう徹底していきたいと考えています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の成長や心身の状態を記録し、各子どもの状況把握と支援の検証・改善を心がけています。	記録者が固定化しないよう、様々な場面、目線、考えの下で検証や改善ができるよう、積極的に記録をとる習慣を促していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	最低6か月に1度モニタリングを実施し、子どもの現状や今後の支援方法・対応の仕方等、保護者との間で共通理解と情報共有し、統一支援ができるよう必要に応じて計画内容を見直ししています。	子どもに合わせた支援内容で支援が行えるよう、支援計画の見直しの判断をしています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	全職員に日頃の様子等を聞き取り内容をまとめた上で、児童発達支援管理責任者が参加しています。	必要に応じて、支援に関わる職員の参加を増やし、今まで以上に内容を深めていけると良いと考えています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3	必要に応じて関係機関との連携を取り、情報共有や相談、アドバイスを受け、支援に繋げています。	最善な状況で支援ができるよう、関係機関との連携体制を強化していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	今のところ、具体的な支援内容の情報交換等の実施はありませんが、子どもの様子や状況の共有を行う体制は整えています。	対応の必要性が出てきたら積極的に進めていきたい考えがあり、体制を整えていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4	現時点では就学時の移行場面がなかったため実施していませんが、今後は必要に応じて対応していきます。	現時点では就学時の移行場面がなかったため実施していませんが、今後は必要に応じて対応していきます。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	8	利用者の児童発達支援センターの利用等がないこともあり連携の実績はありませんが、職員の質の向上やより良い療育提供のためにも連携を図ってきたいと思っています。	助言等が受けられる機会を増やしていけるよう働きかけていきたいと考えています。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	今のところ活動の機会はありません。散歩や屋外活動では地域住民と関わる機会をもち、事業所への理解や連携が持てる関係を築いていきます。	今のところ活動の検討はしていません。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	帰りのお迎え時に、その日の様子や変化についてお話しし、共通理解を得ています。その他、事業所が取り入れているツールで日々の活動記録を記入し子どもの状況や成長を共有しています。	保護者への連絡は密にとれる体制を整え、安心してご利用いただけるように努めていきます。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	家族参加の研修は実施していません。	今後の目標として開催を目指していきます。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約前にお伝えし、契約時と変更がある場合には書類を配布し説明を行っています。	保護者にわかりやすい説明を心がけ、安心してご利用いただけるように努めていきます。

保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	最低6か月に1度、児童発達支援計画を更新する際は必ずモニタリングを実施し、子どもと家族の意向を確認しています。	子どもと家族の状況や困りごと等を聞き取り、子どもと家族に寄り添った児童発達支援計画書の作成に努めています。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	保護者とモニタリングで話し合いのもと支援内容を設定し、同意を得ています。	保護者が納得できる支援内容の設定と説明ができるように努めています。
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	保護者の疑問や悩み等の相談があった時は迅速、且つ適切に対応するようにしています。場合によっては保育所等関係機関と担当者会議を実施し、複数人からの視点を交え助言・支援を行うようにしています。	保護者が相談したいと思ったときに、気軽に相談できる窓口となれるような事業所を目指しています。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6	今のところ、保護者同士が交流できる機会は設けていません。	現時点では、保護者会等の開催ができていないため、今後、保護者同士の情報共有や関わりが持てる機会も検討していきたいと思っています。
	37	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	子どもや保護者から相談があった時は迅速、且つ適切に対応するよう心がけています。相談や申し入れ方法については、契約時に周知・説明をしています。	保護者が相談したいと思ったときに、気軽に相談できる窓口となれるような事業所を目指しています。
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	3	今現在の連絡体制は、日々の記録やお迎え時に口頭でお伝えしています。情報発信についてはまだまだ不十分さを感じるところがあります。	今後は、毎月の療育活動を記載したお便りや活動後の様子・報告の配付をしていきます。また、HPやSNS等、色々なツールを活用して情報の発信を増やしていきます。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人の情報が特定できるような情報を漏らさないよう配慮と職員周知を徹底しています。書類等は鍵のかかる書庫に保管しています。	個人の情報が特定できるような情報を漏らさないよう配慮と職員周知を徹底していきます。
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	帰りのお迎え時に各保護者と話ができるため、日頃の様子や情報発信等話をする時間を設けて、意思疎通を図っています。	保護者の要望に沿った対応を心がけていきます。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	地域住民の方を招待する行事は実施していないが、散歩等屋外活動では地域住民と関わる機会をもち、事業所への理解や連携がとれる関係を築いていけるよう心がけています。	地域との関わりを広げていけるよう行事の開催を目指していきたいと考えています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各マニュアルを整備し、年間研修計画に沿って研修や訓練を実施しています。	各マニュアルを整備し、年間研修計画に沿って研修や訓練の実施を継続していきます。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	月に1度の避難訓練と業務継続計画の職員研修・訓練、講習受講を実施しています。	月に1度の避難訓練と業務継続計画の職員研修・訓練、講習受講の実施を継続していきます。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時に服薬、予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認し、内容を職員に周知しています。	年度ごとにアセスメントをとり、子どもの状況を確認する体制をとっています。
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	必要な子どもについては、医師の指示書を持参いただき、指示書に基づく対応をしています。	年度ごとにアセスメントをとり、子どもの状況を確認し、必要な子どもについては医師の指示書を持参していただく体制をとっています。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を策定し、施設や設備の安全点検や職員に研修を実施しています。	安全計画を策定し、施設や設備の安全点検や職員に研修を実施を継続していきます。
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	安全計画を策定し、取り組み内容は保護者が閲覧できるよう玄関に設置しています。	閲覧できるよう設置はしているが、全ての保護者に周知するところまでは至っていないため、説明の機会を設けていきたいと思っています。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	危険を伴うような事例が見つかった時はすぐに報告書を記入し、職員全体で周知と対策、改善に向けて話し合い、子どもの安全確保に努めています。	事業所内でのヒヤリハットの共有、再発防止に向けた話し合いの実施を継続していきます。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止のマニュアルを整備し、年間研修計画に沿って研修や訓練を実施しています。	虐待防止のマニュアルを整備し、年間研修計画に沿って研修や訓練の実施を継続していきます。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	身体拘束についてマニュアルを整備し、契約時に説明と同意を得ています。また、個別支援計画書に反映させ、内容の周知と同意を得ています。	身体拘束についてのマニュアル整備と、個別支援計画書へ内容記載の実施を継続し、保護者の同意を得られるよう努めています。